

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新豊田校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の幅広さ →指導員の幅が広く、幅広い視野で子どもたちの様子をお伝えすることができる。	一人のこどもに対して、複数人で担当したり別日振替や追加の際に別の指導員が担当したりして多くの人と活動できる体制を整えている。	担当制を継続しながら、振替や追加の際に別の指導員が担当して多角的な視点で子どもたちの様子を確認できる体制を充実させていく。
2	職員の団結力 →指導員がみな素直に、全員で真摯に1つのことに向かって取り組んでいる。	季節ごとのイベントや壁面の更新をしている。チームで取り組むことでよりよいイベントの実施を目指している。 掃除なども担当制で行い、美化活動も行っている。	季節のイベント以外にも子どもたちが楽しめるイベントを充実させていく。
3	継続した支援 →小学校・中学校・高等学校卒業といった節目をもって終了される方が多い。いつまでにどの程度のスキルを習得していくか未来のビジョンを共有して支援を行う。	現在の状況だけでなく、今後の方向性も見つめた支援を行っている。	保護者との相談支援の充実、移行支援の充実に向けた取り組み。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育 →現状、個別療育がほとんどで子どもたち同士の関わり方についての支援に対応できていない。	集団療育を実施するに足るスペースの確保ができていない。	少人数でも行える集団療育の実践と保護者の要望に合わせた支援内容の充実化。
2	児童発達支援における支援内容の幅 →本人に最適な療育用品等の準備ができているとはいえない。	療育用品の少なさ。	職員のスキル向上と療育グッズの充実化。
3	個別支援として取り組んでいるが、個室が少ない。	専用の部屋の準備が行えていない。	リフォーム、もしくは移転。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新豊田校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

10

回収数

9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	3	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	2	3		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	1	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	1	4		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	1	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	1	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	・通うようになってから、様々な面で発達の成長ぶりが見られるようになった。	・今後も子どもたちの発達を促すサポートを続けてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」新豊田校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		こどもの発達段階に合わせて、部屋の配置を行っています。 こどもに合わせた部屋の配置をしています。	個室ではないため、周囲の影響を受けやすいです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		毎回1対1での指導を常に行える人員配置になっています。	専門職員の配置がありません。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		こどもたちが活動するスペースには段差などはなく、安全に事業所を利用できます。	特にありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日職員全員で清掃を行っています。月に一度エアコン等の清掃も行い、定期的な清掃を心がけています。	スペースが狭いため、運動するには不十分な空間となっています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こどもの様子に合わせて部屋の変更を随時行っています。時間帯に合わせて、その都度変更することもあります。	全室が個室になると、さらに安定して活動できるように思います。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ 毎月の事業所内会議にて、月の業務改善に向けた話し合いをしている。	特にありません。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 会議にて、意見についての検討を行った。 ・ 今年からは避難訓練の様子をブログで公表した。	まだブログ等を通じた活動の周知は行きわたっていません。ブログやLINEをもっと身近に感じてもらえるよう運営していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 毎月の事業所内会議にて職員の意見交換を行っている。	特にありません。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	社内における内部監査を実施しています。いただいた項目を修正し、日々業務改善に努めています。	現状、第三者評価の実施は決まっていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修に参加しています。豊田市発達センターが運営している研修にも参加しています。	特にありません。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ 保護者のフィードバックを参考に、支援プログラムを毎回調整している。	事業所内でもわかりやすい場所に掲示します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・ 定期的に保護者とアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。	特にありません。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ 指導員も参加しながら作成をしている。	特にありません。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画会議を通じて、職員間に個別支援計画を共有しています。また、その計画を下に、支援を行っています。	特にありません。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎回のモニタリング時期においては社内共通のアセスメントシートを使用してアセスメントを行っています。	インフォーマルなアセスメントに関しては時期がバラバラであり、統一されているとはいえません。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援計画に必要な項目を記載し、保護者に同意を得ると共に計画に沿った支援を行っています。	地域支援・地域連携の支援内容は充実しているとはいえません。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数担当のこどもに関しては毎回の支援後に状況を共有し、今後の支援内容を決定しています。	チームではなく、全体で支援内容を考えていきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		こどもたちが毎回楽しく活動できるよう支援内容を工夫しています。	こどもたちの理解の定着のため、繰り返し学ぶうえで固定化されることもあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	1対1の個別療育に向けた児童発達支援計画を作成しています。	個別療育のため、集団活動を実施することは少ないです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		1か月分のスケジュールを職員全員で共有できるようにしています。細かな役割に関しては前日までに確認しています。	チームではなく、事業所全体で連携しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		複数担当のこどもに関しては毎回の支援後に状況を共有し、今後の支援内容を決定しています。	特にありません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		遅くとも翌々日営業日までには記録の完了を徹底しています。	特にありません。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度面談形式でモニタリングを行い、こどもの様子を確認しながら児童発達支援計画の見直しをしています。	特にありません。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議が開かれる場合はこどもの担当指導員が参加しています。	指導員の都合によっては参加できない場合もあります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		発達センターの検査と一緒に参加するなど、ご家庭の希望に合わせて連携して支援を行っています。	関係機関との連携は充実しているとまではいきません。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要であれば、きらりから学校へ支援内容や様子を書面等でお伝えしています。	保護者の希望がある場合のみ実施しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要であれば、きらりから学校へ支援内容や様子を書面等でお伝えしています。	保護者の希望がある場合のみ実施しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		発達センターと連携をとりながら、依頼をしています。	年間の回数が少なく、充実しているとはいえません。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	きらりの中で、指導員との1対1のやりとりを学んでいます。	地域支援・地域連携の支援内容は充実しているとはいえません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の支援後にフィードバックを行い、きらりでの様子をお伝えしたり、家庭や学校での様子を確認しています。	フィードバック時の短い時間が主となっているため、そのほかの相談の時間も充実させています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所入り口に研修の案内を掲示しています。フィードバック時にご家庭へのアドバイスも適宜行っています。	参加しやすい環境であるとはいえない状況です。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をしています。また、その場において説明も付け加えています。	支援プログラムを見やすい場所に掲示します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時期には保護者と面談を行い、最近の様子や要望を確認しています。	特にありません。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画書の更新の際は保護者に確認をいただき、同意を得たうえで実施しています。	毎回のフィードバック時における支援内容の説明時には児童発達支援計画書を直接使用していません。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリング時期には保護者と面談を行い、最近の様子や要望を確認しています。また、その他必要となった際は別途面談の場を設けています。	定期的な相談の場自体は設けられていません。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者からの要望がそれほどないため、実施に至っていません。	必要であれば、実施していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所への相談や申し入れは迅速に対応させていただいています。周知に関してはLINEもしくはブログにて行っています。	LINEやブログで確認をしていただいているかの確認までは行っていません。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		最低月に2回ブログを更新しています。必要な情報があればLINEにて通知しています。	ブログの発信内容を充実させています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は個別ファイルに保管し、外部へ流出しないようにしています。	特にありません。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		内容に合わせて個別に連絡をするなど、家庭の都合に合わせて対応させていただいています。	特にありません。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	保護者からの要望がそれほどないため、実施に至っていません。	必要であれば、実施していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを整備し、訓練を実施しています。訓練内容をブログでお伝えしています。	ご家庭への周知が足りていないように感じるので、入り口にファイルを置くなどしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの作成を行い、訓練を実施しています。	特にありません。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時、年に1回の更新シートで確認をしています。	特にありません。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	お菓子の提供時は保護者に確認をして渡しています。食事提供をしていないため、医師の判断を仰ぐ機会がありません。	必要であれば、実施していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、訓練やリストの確認を徹底しています。	特にありません。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ブログにて訓練の様子をお伝えしています。	ブログでの周知がいきわたるように工夫していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		月に一度の事業所内会議でヒヤリハットの共有をしています。	特にありません。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内研修やその他研修に参加しています。	特にありません。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に保護者へ説明をしています。身体拘束を行う場合は、必ず保護者への確認を行っています。	特にありません。